

はじまりの
名護屋城名護屋城の逸話や茶の湯の魅力について
歴史や文化芸術に詳しい佐賀新聞社中尾社長に聞きました。

第四回

「現代にも輝き放つ
黄金の茶室」黄金づくしの茶室は
意外にも上品だった

秀吉自慢の「黄金の茶室」は平三畳の座敷。天井や壁には金の延べ板が貼られ、茶道具も金で作られました。秀吉はこの茶室を名護屋にそっくり運びこみ、諸大名や特別な客の接待に用いたとか。そのあまりの豪華さに、招かれた客も度肝を抜かれたことでしょう。

黄金の茶室は一見すると、千利休のわび茶の洗練美とは対極にあって、秀吉の金ピカ趣味と揶揄されがちです。しかし茶室は、明るい電灯の下ではなく、奥まった座敷の中にあったのです。ロウソクの火がかすかに灯るほの暗い室内に、黄金のきらめきが浮かび上がる様は美しく、意外にも上品な空間だったのではないのでしょうか。

歴史が証明する
黄金の国ジパング

当時は日本各地で金山が発掘されました。イエズス会の宣教師によりヨーロッパの精錬技術が伝来し、世界最大の金貨である天正大判や、金箔を貼った障壁画も生まれました。秀吉時代の日本は世界一の産金国であり、まさしく黄金の国ジパングでした。

間もなく、黄金の茶室が復元され、名護屋城博物館に設置されることになりました。あ
るべき場所に戻ってくるのは喜ばしいこと
ですよね。現代によ
みがえる黄金の輝
きも、はじまりの名
護屋城。

佐賀新聞社社長
中尾清一郎

再現茶会

秀吉が名護屋城で楽しんだ
もう一つの茶室「草庵茶室」
がステージに登場

同日 13:00公開スタート

よみがえる黄金の茶室

豊臣秀吉が名護屋城で
使った「黄金の茶室」を
再現。名護屋城博物館
2階常設展示室はじまりの地 今、ふたたび。
名護屋城大茶会

日時 令和4年 3月27日(日) 10:00~17:00

会場 肥前名護屋城跡及び名護屋城博物館、茶苑海月ほか
(佐賀県立名護屋城博物館:佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3)

ステージイベント



- 長谷川理恵さん
スペシャルトーク&WabiYoga
- 講談/神田山緑
- 篠笛演奏/佐藤和哉
- 能楽実演/井内政徳
- 薩摩琵琶演奏/北原香菜子
- 鷹匠実演/石橋美里

県内茶道団体による呈茶席

※有料 ※茶席の当日受付は15時まで

名護屋城マルシェ

美味しいグルメやかわいい雑貨が大集合

佐賀県
佐賀県 文化課
TEL.0952-25-7236はじまりの
名護屋城。

The Beginning of New Cultural Tourism from SAGA

詳しくはコチラ

